

< 大学・高専等の教育関係者の皆様へ > 計算力学技術者資格のご活用のお願い

一般社団法人日本機械学会

イノベーションセンター

本会において2003年にスタートした計算力学技術者資格認定事業では、FEMソフトの結果を正確に判定して設計ミスによる製品事故を防ぎ、安全な製品を開発するという大切な役割を担う「計算力学技術者」の資格を認定しております。

製品の品質を保持するためには、設計の段階において正しい解析結果を得ることが何よりも重要となり、そのためには解析を行う人材が高い能力を有することが要求されます。本資格における最大の価値は「人材の品質を保証することにより、解析結果の信頼性を裏付けることが出来る」というものです。この「解析のスペシャリスト」という切り口において、国家資格の「技術士」とは異なる新しい資格となっています。また、2010年度までに約3,000名の有資格者が誕生しており、現在、3つの業界団体(社団法人日本機械工業連合会、社団法人日本産業機械工業会、一般社団法人日本電機工業会)からの後援、その他多数の学協会との協賛を受けており、日本のものづくりを担う企業及び技術者にとって注目の資格として定着しています。

本資格においては、大学・高等専門学校等の教育機関が実施する演習等の授業において、一定の基本条件を満たしたものを「公認 CAE 技能講習(会)」として認定すること、また所定の学位を認定・免除の対象とすることにより、学生時代から継続的に試験にチャレンジ出来る制度を設けております。

固体力学分野または熱流体力学分野における「公認 CAE 技能講習(会)」として認定されると、その授業の単位がそのまま同分野における初級の認定資格を満たすこととなります。同様に熱流体 2 級の受験資格を満たすこととなり、固体 2 級においては付帯講習が免除されます(詳細は「公認認定講習会の認定手順ならびに申請方法について」をご参照下さい)。また、所定の学位をもって 2 級における同様の措置が取られます(詳細は「免除 / 認定規定」をご参照下さい)。

本資格を取得することにより、技術者は自身の技術レベルやキャリアの裏づけとすることが可能となり、学生時代から本資格試験に挑戦して頂くことで、技術者としてのキャリアをより継続的に蓄積することが可能となります。また、企業の採用試験の際に本資格をアピールすることで、人事担当者からの注目度アップに繋がります。

大学・高専等の教育関係者の皆様におかれましては、次代を担う若い技術者の育成に、本資格を是非ご活用頂けますようお願い申し上げます。